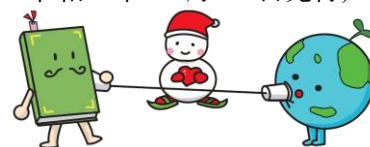


学習課題(小学校3年生)



【理科】

<学習内容> 「音を出して調べよう」

◆ 「音が出るとき」(教科書 106～110 ページ) について、取組シートやノートにまとめよう。

(1) 教科書 106～107 ページを参考に、わゴムギターを作って音を出してみましょう。音が出ているとき、わゴムのようすが、どのようになっているか、気づいたことを書きましょう。

※作らなかった場合は、教科書 108 ページをよく読み、音が出ているときの、わゴムギターの様子について、書きましょう。

(2) 音が出るときに、物はふるえているのかを調べます。リコーダーやけんばんハーモニカで音を出し、楽器がふるえているか調べてみましょう。取り組んだ後に、教科書 110 ページを見て、実験の結果についてまとめよう。

【動画を参考にみるのもよいでしょう】

NHK for School 「音が出ているときを見てみると？」

https://www2.nhk.or.jp/school/movie/clip.cgi?das_id=D0005301669_00000&p=box



◆ 「音の大きさ」(教科書 111～112 ページ) について、取組シートやノートにまとめよう。

(1) わゴムギターで大きい音と小さい音を出し、わゴムの様子がどう変わったかについて考えて、書きましょう。

※作らなかった場合は、教科書 111 ページの写真を見て、わゴムの様子の違いについて書きましょう。

(2) 音の大きさによって、物のふるえ方はちがうのかについて、考えます。リコーダーやけんばんハーモニカをつかって大きい音と小さい音を出し、ふるえ方の違いについて考えたことを書きましょう。取り組んだ後に、教科書 112 ページを見て、実験の結果についてまとめよう。

【動画を参考にみるのもよいでしょう】

NHK for School 「たいこの音が大きいときと小さいとき」

https://www2.nhk.or.jp/school/movie/clip.cgi?das_id=D0005301732_00000&p=box

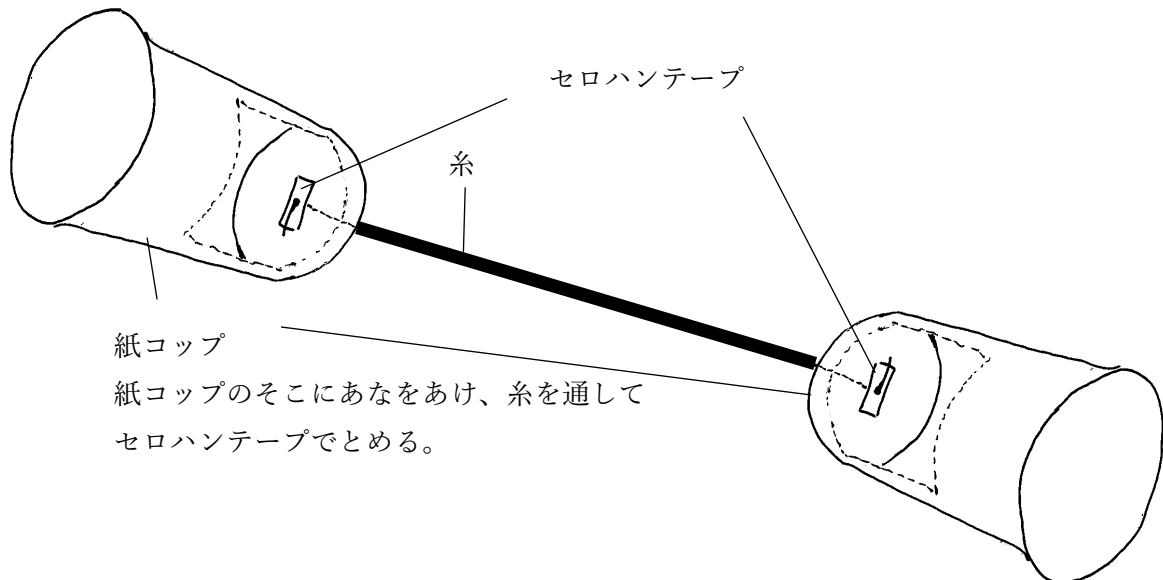


◆「音のつたわり」（教科書113～115ページ）について、取組シートやノートにまとめよう。

(1) はなれたところでも声を伝えあうことができる、糸電話というおもちゃがあります。作ってみて、おうちの人と声をつたえ合ってみましょう。糸がピンとはったときと、糸がゆるんでいるときとで、聞こえ方の違いを考えて書きましょう。また、音が聞こえているときに糸を指でつまむとどうなるか、書きましょう。

※糸電話を作らない場合は、教科書113ページの「じっけん3」、114ページの「けっか」をよく読み、音がつたわるときの音をつたえるものの様子についてまとめましょう。

【糸電話のつくり方】



(2) 教科書114ページ「まとめ」を参考に、音がつたわるとき、音をつたえるものはどんな様子かまとめましょう。

<保護者による関わり方のポイント>※可能な範囲でお願いします。

- ・この学習では、物から音が出たり伝わったりするとき、物はふるていること、音の大きさが変わるとき物のふるえ方が変わること気付くことを大切にしています。
- ・「音が出るとき、ふるえているかな。」「どこがふるえているかな。」「音が大きいとふるえも大きいかな。」など、音とふるえに関係があることに気付くように関わってください。
- ・わゴムギター、糸電話は、家庭にある物で作ることができます。可能であれば一緒に作り、実際の体験を通して学んでください。